

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	030	生涯スポーツの推進	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
067	年齢や興味関心・技術技能に応じた生涯スポーツを推進します。	充実	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	町主催体育事業の実施（単位：回）	4	4	4	4	0	4	0	4	0	基準値：H25
	各種体育団体への支援（単位：団体）	2	2	2	2	0	2	0	2	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	町主催体育事業への参加（単位：人）	220	200	253	200	0	200	0	200	0	基準値：H25
	各種体育団体への加盟（単位：人）	1,141	1,000	1,091	1,000	0	1,000	0	1,000	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	町民の健康増進を軸として運動する機会の提供及びスポーツ団体の活動支援を通し、青少年の健全化と体育振興を図っているため必要と判断する。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	指定管理者や総合型地域スポーツクラブの熟成など機運があるが、町が主体となって行っている事業を行なえるまでには至っていないと判断する。スポーツ推進委員の連携して実施している。
有 効 性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。
	スポーツ推進委員による事業計画、指導が行われており適した方法で実施していると判断する。
効 率 性	2. 事業費コストに改善の余地がある。
	さらなら運動機会を提供するためには、事業費が増えていくと判断する。
公 平 性	2. 特定属性の不特定多数の個人・団体を対象としている。
	団体については加盟者となるが町民を対象としており、地域全体の利益につながることから公平性が図られていると判断する。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	スポーツ行事や委託事業については、実施団体と教育委員会と協議をしながら進めている。団体の支援についても同様。
課題・問題点	人口減や休日の過ごし方の変化により、過去と比べると参加者数が減っている。団体支援の補助金などについては団体活動経費が年々増えているため増額してほしいという要望がある。
改善策	行事の周知方法、内容改善に努め、利用者が参加しやすいまた興味を持つ行事を検討する必要がある。補助金の増額については、要望する声が多くなってきたときに検討する必要がある。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	スポーツ推進委員や各関係団体と協力しながら事業を実施すること。
2 次 評 価	1. 計画通りに進める
	1次評価と同様
外 部 評 価	
最 終 評 価	1. 計画通りに進める
	2次評価と同様

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	030	生涯スポーツの推進	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
068	スポーツ合宿などの受入体制を整備します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	スポーツ合宿の受入（単位：件）	24	30	21	30	0	30	0	30	0	基準値：H25
	事業対象となる件数（単位：件）	2	10	2	10	0	10	0	10	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	スポーツ合宿の受入（単位：人）	926	1,000	887	1,000	0	1,000	0	1,000	0	基準値：H25
	事業対象となる人数（単位：人）	73	200	47	200	0	200	0	200	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	合宿誘致による経済効果は大きく、地域経済活性化の一端を担っている。
妥 当 性	2. 民間等が主体的に実施すべき事業であるが、現段階では行政で実施する必要がある。
	NPO雨煙別学校と社会体育施設指定管理者が受入を行っている。町は報告を受け取っているのみであるため、ほぼ外部委託事業となっている。
有 効 性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。
	合宿受入れのために環境整備が必要（宿泊施設、社会体育施設）
効 率 性	1. 事業費コスト及び人件費コストに見合った効果が期待でき、費用対効果が高い。
	事業の対象基準を鑑みるに、記念品に設定している金額は妥当であり、町外から団体を誘致するには現在の事業は必要不可欠である。
公 平 性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。
	記念品の金額であるが、対象となる団体の町内への経済効果を考慮すると、決して過大ではない。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	受入団体数の増加を図るために申込団体の調整を実施。
課題・問題点	施設老朽化のため受け入れ可能数に限度がある。また、合宿申し込みの増加する時期に同施設を利用した事業等も増えるため、調整が困難である。
改善策	老朽化については、第6次総合計画後期に含まれているため、改修はせず現状維持とする。合宿団体と事業との調整については、関連施設・団体と協議の上、調整することとする。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	現在の施設状況では、改善の余地は少ない。利用申請の調整・整理について協議を行い合宿誘致の改善を進める。
2 次 評 価	1. 計画通りに進める
	1次評価と同様
外 部 評 価	
最 終 評 価	1. 計画通りに進める
	2次評価と同様

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
069	老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	施設改修数（単位：施設）	10	14	12	9	0	2	0	4	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	社会体育施設数（単位：施設）	16	16	16	16	0	16	0	16	0	基準値：H25 ※改修した施設数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	安全にスポーツをするために必要と判断する。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	公共施設のため、行政が主体的に実施する必要があると判断する。
有 効 性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。
	本来、早い時期に予防修繕として修繕をすることが望ましいが、予算の関係上、現段階では最善の計画と判断する。
効 率 性	3. 人件費コストに改善の余地がある。
	事務職でできる内容の修繕はあるが、大規模な修繕など専門の知識が必要となる。技師が行うと人件費及び事業費のコストが軽減される可能性があると判断する。
公 平 性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。
	公共施設の利用料金として利用料金を公平に負担していただいている。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	年度別に計画している改修事業の優先順位を整理することとなっているが、毎年見直しすることに至っていない。
課題・問題点	計画されている修繕については、実施年度の優先度等を勘案し、財政推計等の状況を踏まえて決定することになっているため、突発的な修繕については対応が困難。また、後期計画の修繕については年月が経過するにつれて状況が悪くなると予想される。
改善策	施設の現状把握と修繕箇所の把握について、専門家を配置する施設管理グループなど設置を検討することの一つの手段と考える。□ 突発的な修繕については、平成28年度から30万以上の修繕が町で行うことから予算額を上げることを検討する必要がある

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	年度別に計画している改修事業の優先順位を毎年見直し、安全にスポーツができるように施設の維持に努めること。
2 次 評 価	1. 計画通りに進める
	1次評価と同様
外 部 評 価	
最 終 評 価	1. 計画通りに進める
	2次評価と同様

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
070	ふじスポーツ広場の大規模な改修を検討します。	新規	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	基本計画、測量	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実施設計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	改修面数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	改修施設数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	2. 目標設定が町民ニーズ等に概ね合致している。課題解決のために必要な事業である。
	分野別懇談会では、修繕するのであればできるだけ早い時期に改修を行ってほしいと意見があり。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	公共施設のため町が実施することが望ましいと判断する。
有 効 性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。
	平成13. 14年度に張替えを実施してから10年以上経過しているため張替えは有効と判断する。
効 率 性	2. 事業費コストに改善の余地がある。
	人工芝にした場合は、20年程度の長い年月のランニングコストを勘案すると効率性が良いと判断する。また、利用率については、大幅に上がると見込まれる。
公 平 性	2. 特定属性の不特定多数の個人・団体を対象としている。
	利用者は全町民が対象であるが、実際の利用者は一定の競技者に固定化される。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	H27半面、H28半面の予定だったが後期計画に移行したため、改善などは行っていない。
課題・問題点	後期計画で実施するときは、どの程度の改修費用になるか見通しがたない。
改善策	実施時期が決定した時点で、基本設計、実施設計を経てから改修工事をするのが望ましい。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	後期計画時に再度検討すること。 改修工事の全体費用が見えないため、町財政面を考慮しつつ、かつ次期指定管理選定（平成33年度～）を見据えて、基本設計・測量（H31）、実施設計）、改修工事（H33. 34）について検討すること。
2 次 評 価	
外 部 評 価	
最 終 評 価	

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
071	栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。	新規	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	施設改修数（単位：施設）	1	1	1	1	0	1	0	1	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	施設数（単位：施設）	1	1	1	1	0	1	0	1	0	基準値：H25 ※改修した施設数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項 目	判断基準
必 要 性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。
	安全にスポーツをするために必要と判断する。
妥 当 性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。
	公共施設のため、行政が主体的に実施する必要があると判断する。
有 効 性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。
	最適な実施方法である。
効 率 性	1. 事業費コスト及び人件費コストに見合った効果が期待でき、費用対効果が高い。
	余地はない。
公 平 性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。
	公共施設の利用料金として利用料金を公平に負担していただいている。

項 目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	修繕を実施。
課題・問題点	老朽化施設であることから、毎年修繕箇所が突発的に発生してくる事が予想される。
改善策	修繕計画に基づいた修繕が必要とされる。

【総合評価】

区 分	評価内容・指示事項
1 次 評 価	1. 計画通りに進める
	安全な施設管理体制の整備が必要。
2 次 評 価	4. 改善を検討（その他）
	施設全体の現状を的確に把握し、施設を維持していくための効果的な方策を早急に検討するとともに、計画的な維持補修に努めること。また、関係団体との情報交換・意見交換など、利用者の意向を十分把握すること。
外 部 評 価	
最 終 評 価	4. 改善を検討（その他）
	2次評価と同様